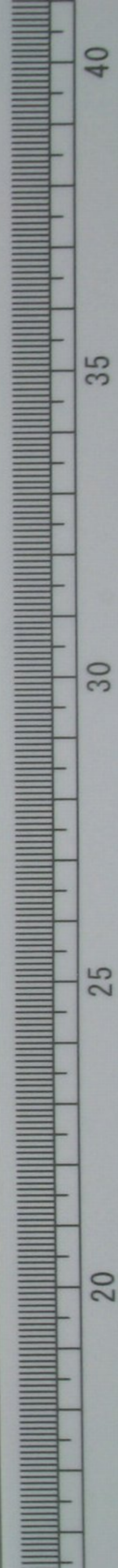


逍遙文庫  
文庫 6  
106







尚古鏡池田先生校正

皇子  
專用

奇子調法記





徳海四状

九月十三日おれ書  
徳海致真州

例まき海軍別  
各状の出席

月日 某

作状  
作状  
退き



當流小きみ

おのころの尾上はれも  
さき名おろしく



實語教

富故不貴 以有樹る美

能故不貴 以有智る美

富是下生賊 身藏却其賊

富是下生賊 身藏却其賊

富是下生賊







あつたのちもねと法を  
百代のまことやちよ  
代りてくる

能く

けやはのまじかあ  
あふむるまじかあ  
のまじかあ  
ひらきかあ

同

あふむるまじかあ  
ひらきかあ  
あふむるまじかあ  
ひらきかあ

忍れ終日將

泣如市人

只如封侯賊

小金毛福人

為窮人者

隨會行學

隨得法後

壽子老智云

陸合國事家

尚如家下花

同

あつたのちもねと法を  
百代のまことやちよ  
代りてくる

便ね

あつたのちもねと法を  
百代のまことやちよ  
代りてくる

同

あつたのちもねと法を  
百代のまことやちよ  
代りてくる

維也貧賤門

密如中遠

竹君如日月

夫妻猶如瓦

竹君任晝夜

為有智人者

父母如天地

親族猶如草

父母若如夕

夫妻如晝夜



るもの面自れんや

然や

そく九きのをきる

あふまのけしき

同

車やりのもの

の車やりのもの

の車やりのもの

の車やりのもの

の車やりのもの

の車やりのもの

已兄禮教

人而無智者

人而無孝者

不交言愛友

不交言愛友

己弟教者

不交言推名

不交言高生

何甚言公林

誰波人者海

今もあつての世に

世にけしき

まことしを

養老

千代のためと

老との入る



八道は廣

重為の

敬孝如父母

我教他者

己教人者

士志余性

教者

老知

他余教我

余教己親



たり来と不念く

同

又やまののりしす  
めらつて代をいそ  
乃末のりしすを  
よとあるが終りし

那那

庭へ金銀のりしす  
を同のりしす  
と、人をもえり  
か、ゆきしりし  
る、ま、ま、ま

結連色所果

先令は他人

見他人之愁

臣国亦可患

聞他人之喜

則國亦可悦

見善者遂朽

見惡者遂盛

好惡者相禍

聖惡者致音

修者志氣福

家如陣勇氣

泣者勿志衰

或如向後負

泣者勿志衰

或如向後負

交稱智勇長

善辭是信文

不為字教志

善辭是信文

又城の礮もかりや  
ろ中のうきま  
同  
の免かかんろりや  
んとおとるれや  
まをうりかりのうき  
とまをまの葉を  
もえりしすを  
よやあ又も  
中 竹 中 竹  
まをまの波やまの  
うらまのあまの  
つとつやまの











懐のやるるくく育か  
ととさうあそこのりき

抱士幸

未万民の幸もは人  
らまらるるやま

梅枝

子とて吹きて月  
うらんらんやふり  
の松吹風もくも人  
のまじりまじり

氏事うらふこと何



人のみはな  
いそめ  
うらん  
まらるる  
あそこのりき

えはる  
あそこのりき  
あそこのりき

沈者人言  
あそこのりき

人年者後  
あそこのりき

人暇者後  
あそこのりき

車必于暗  
あそこのりき

人必于古  
あそこのりき

口是禍之門  
あそこのりき

春鳥如林  
あそこのりき

蜜而勿港  
あそこのりき

隈而勿紀  
あそこのりき

遊約千里路  
あそこのりき

破扶公力  
あそこのりき

古是禍之根  
あそこのりき

使如鼻者  
あそこのりき

色言不者  
あそこのりき

白主非之  
あそこのりき

獨福者其  
あそこのりき

夫化之之  
あそこのりき

史後善其  
あそこのりき

終身教之  
あそこのりき

寫遺之古  
あそこのりき

惡之非終  
あそこのりき

唯在取之  
あそこのりき

自化之之  
あそこのりき

史有餘考  
あそこのりき



そのうひあをて今うは  
くわ。も。不。法。を。も。む  
の。し。も。を。せ。め。て。し。ま。す

菊士童

不老の業とあるとわ  
る。さ。あ。と。ま。ま。し。め  
し。あ。命。を。と。ん。に。天。下  
と。お。も。り。あ。や。わ

弱は作

さ。の。の。舟。も。ま。ら。な  
る。あ。の。の。ま。の。種。の。ま  
こと。浦。く。よ。ひ。ま。ま。て  
あ。ま。ひ。ま。ま。ま。ま。ま。ま。の

よ。て。る。海。も。も。那  
如。仙。の。海。も。り

まま

作。豆。の。之。法。の。種。も。次  
お。ま。ま。ま。代。の。も。先  
い。く。久。し。こ。も。所。も  
し。や。も。夜。今。月。の。海。も  
と。い。う。も。め。も。い。ま。も

現在ぬえ

必。き。ま。る。世。代。と。も。や  
民。も。ま。ま。つ。る。時。あ。り。く  
あ。ま。ひ。ま。ま。ま。ま。ま。ま。の  
と。い。う。も。め。も。い。ま。も

又。好。忠。之。處  
ま。ま。の。し。の。め。く。と。ま。ま。の

人。而。有。法。法  
い。く。ま。ま。の。ま。ま。の。ま。ま。の

人。而。有。法。約  
い。く。ま。ま。の。ま。ま。の。ま。ま。の

信。力。堅。固。門  
い。く。ま。ま。の。ま。ま。の。ま。ま。の

念。力。深。遠。家  
い。く。ま。ま。の。ま。ま。の。ま。ま。の

心。不。周。必。面  
い。く。ま。ま。の。ま。ま。の。ま。ま。の

必。有。條。發。矣  
ま。ま。の。し。の。め。く。と。ま。ま。の

必。有。陽。報。矣  
い。く。ま。ま。の。ま。ま。の。ま。ま。の

必。有。報。名。矣  
い。く。ま。ま。の。ま。ま。の。ま。ま。の

必。有。善。法。矣  
い。く。ま。ま。の。ま。ま。の。ま。ま。の

必。有。深。遠。矣  
い。く。ま。ま。の。ま。ま。の。ま。ま。の

必。有。堅。固。矣  
い。く。ま。ま。の。ま。ま。の。ま。ま。の

不。採。作。人。弓  
ま。ま。の。し。の。め。く。と。ま。ま。の

前。車。音。震  
い。く。ま。ま。の。ま。ま。の。ま。ま。の

亦。有。之。志  
い。く。ま。ま。の。ま。ま。の。ま。ま。の

音。之。名。流  
い。く。ま。ま。の。ま。ま。の。ま。ま。の

人。志。死。節。名  
い。く。ま。ま。の。ま。ま。の。ま。ま。の

法。國。之。賢。聖  
い。く。ま。ま。の。ま。ま。の。ま。ま。の

不。務。他。人。馬  
ま。ま。の。し。の。め。く。と。ま。ま。の

後。在。之。為。戒  
い。く。ま。ま。の。ま。ま。の。ま。ま。の

後。事。之。為。師  
い。く。ま。ま。の。ま。ま。の。ま。ま。の

能。於。他。人。名  
い。く。ま。ま。の。ま。ま。の。ま。ま。の

處。之。死。節。名  
い。く。ま。ま。の。ま。ま。の。ま。ま。の

勿。使。釋。身。矣  
い。く。ま。ま。の。ま。ま。の。ま。ま。の



皇帝

皇のまはるやけの天  
をく地久しとて  
もたれまふま

鞍馬天狗

使はるる天狗  
鞍馬ののり  
も通りまづる  
よまわすもくも  
とすめん  
まはるる

君子不養人

入城而問禁

入朝而隨新

入門先回辭

衣冠不整

愚者無事

則民怨矣

入宮而問

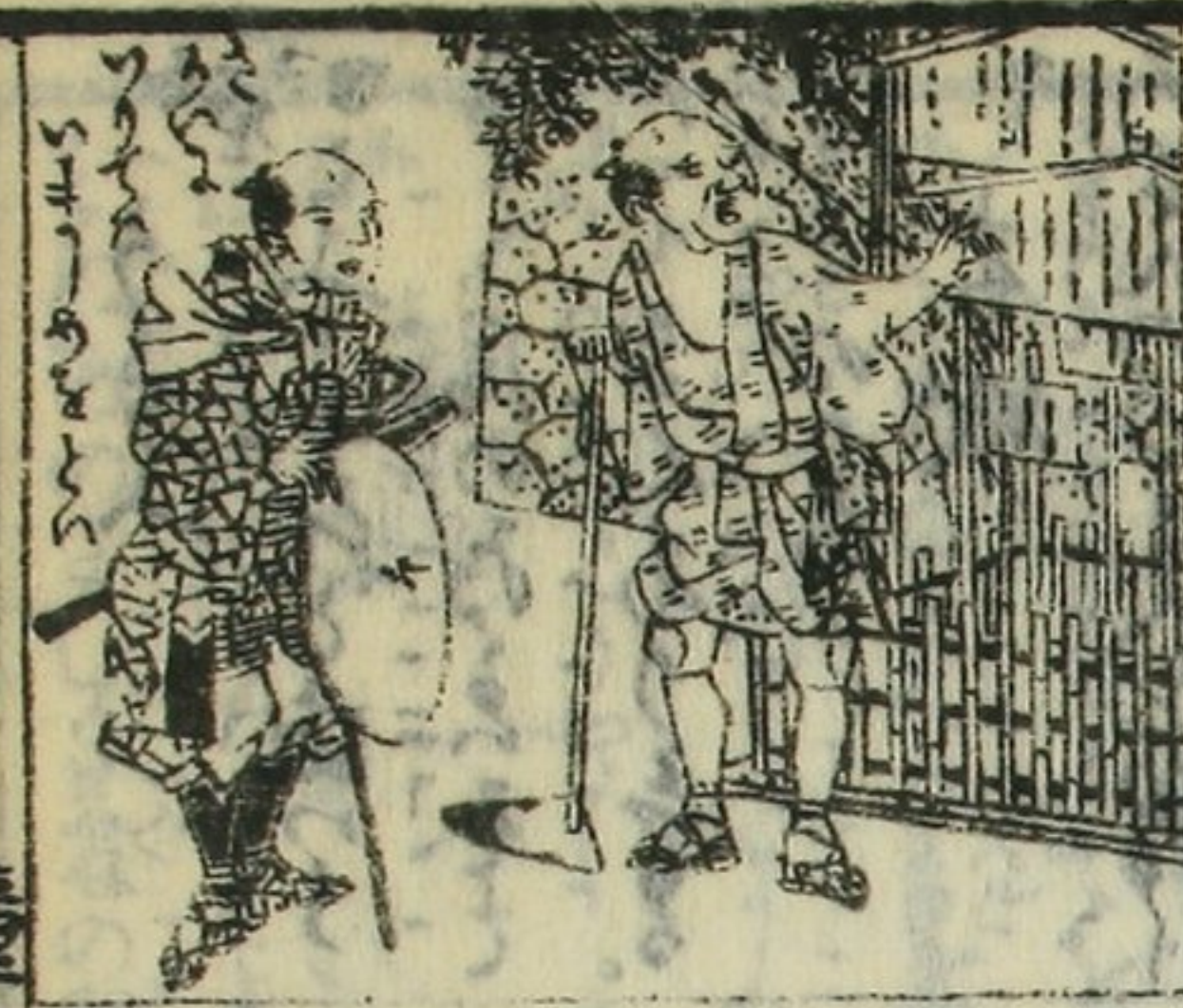
入作而隨

為教主人

重三子の

送可貴子

西行様



如用管轄天

作の野人

師道志子

生面事

貴者不

陸尚心

以用維指

作教人

作悪人

習俗

富夫不

是名











知 飛出  
 屋 けんのひらき  
 づ ぬきまのり  
 ある中の酒きんま  
 型  
 ちあくまのむも  
 され白ひもほき  
 る井さおそとめ  
 人んるそぬ中  
 いしむ面ふや  
 をくわよりてく  
 丁 固ね  
 海さるるのさ

舌 城の除所  
 忠を毒殺痛  
 除 刃終月替  
 色 食偽受  
 安 身起極  
 賢 徳打其光

薄 衣を夜  
 食 食を夏回  
 碎 湯く狂丸  
 温 湯増睡眠  
 匡 衡の教子  
 孫 敬の受又

右 年の代やじ  
 小 去のまう  
 いくスーも  
 和 神末  
 松 けり  
 新 ころの  
 て 今をみる  
 の しくひ  
 よ くとま  
 加 養  
 今 けり  
 一 けり  
 一 けり  
 一 けり

用 戸不  
 誰 利股  
 纒 懸頭  
 衆 堂の  
 快 書お  
 不 知冠

福 泰の  
 俊 敬の  
 車 統好  
 富 士好  
 体 得入  
 高 周入







聖唐紅  
子金も何さ  
の事よとありし  
ふるまきあひま  
すつふわりの  
のりもくし  
はさき  
のれも  
あつむ小町  
あつむ小町  
あつむ小町

漢家利座  
大石地獄  
小石地獄  
聖心樹中因  
從心普天  
須弥山

智者化罪者  
愚者化罪者  
負者常懷者  
智者常飲者  
父母老る山  
母懷者深海

漢しる名  
見上白  
ふあ  
とあ  
唇  
ま  
ま  
聖小  
む  
時  
お  
大  
こ

漢漢海還漢  
赤肉志母漢  
來入修身分  
身心極苦勞  
家父母報恩  
家慶頂多奉

白骨者又漢  
赤白二涕和  
身取肉十月  
生修外教  
家父母又膝  
家父母又膝



三九二  
あしはくをく

和布川

妻秋のやまの一人も

くちあえぬぢがま

あまの美字とよ

みくもめま

和虎通

よ大政のまらり

しるるゆあま

酒のまら

美日新

秋の代よのまら



花のまら  
三  
の東の松風も枝  
とまら

貴乳味粉餅

穀類粉餅

漬物漬物

日米連業

多知地粉

如樹考杜枝

胡妻干山野

言條は江海

内資是業

内寄杜夕味

裁裁不知恩

表濃不思法

如野如抄業

夫雷刺業

又乳味其命

海元清金金

汲水如海泉

深常中接業

内寄未其父

如婦罵を母

郭巨を糧母

妻の古月婦

妻の古月婦

王伴粉水











一、（？）

世の孫よあふるも外  
のひしりあふるも

破溜

の好まはの人たもの  
の好まはの人たもの

香推

芳きき花のまじり  
あしきく合さるる

推ろし風の流る  
四代とあそぶ

よもつとくく百代  
この作れぬ酒ら  
よもつとくく百代  
この作れぬ酒ら  
よもつとくく百代  
この作れぬ酒ら

無実を善か

被縛珠衣

被衣撤杖

布被善提

可布能女財

月支運月威

龍帝打誇力

人心可行施

人心不情奴

君人笑窮力

見地布能財

下生法在心

切漑如大海

得報如教子

早研美金屑

迷法達善護

却指輪王位

娘心施一人

為己施他人

衆心為憐人

打老供公案

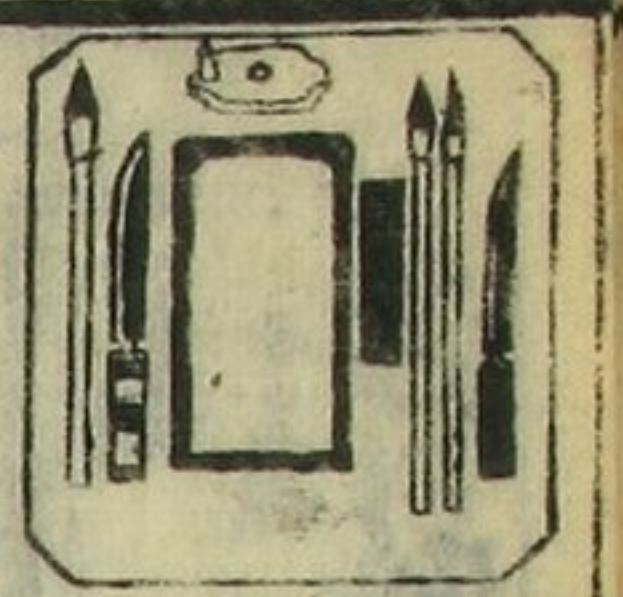
二百信入力

本傳是法流

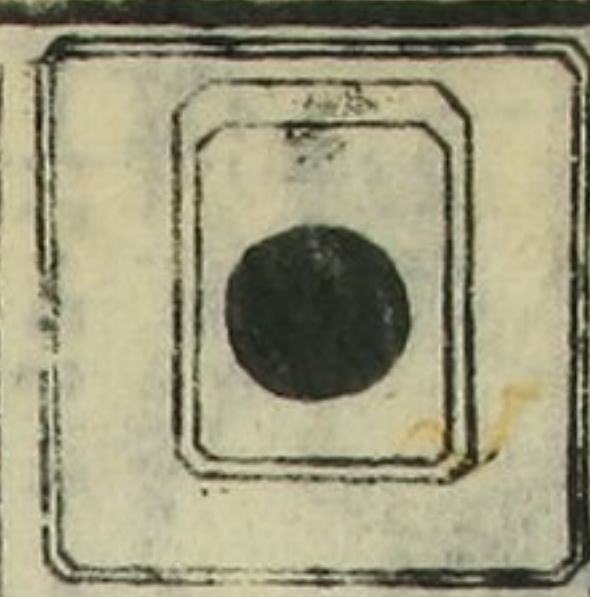








筆二  
筆一  
筆一  
筆一  
筆一  
筆一  
筆一  
筆一  
筆一  
筆一



大の  
中の  
小の



大の  
中の  
小の



大の  
中の  
小の

黄樂救主事

一不色車本遊乳

一明令行死罪事

一大科之宰る國頭

一沙法教者事

一貧民令及例神

一社格榮花事

一先祖山庄寺壇下

一破壊白在社事

一表之重恩令事

京町小路

建信所

河原町

浄土所

富小路

場町

間之町

車庫町

南替所

衣掛実按

登在实按

町と

寺町

教所

柳馬場

高倉

東洞院

馬場

宝町

新町

西洞院







○大日本圖書  
 五樂門  
 山城 河内 摂津  
 東海道十本  
 佐賀 尾張 遠江 甲斐 安房  
 佐賀 尾張 遠江 甲斐 安房  
 佐賀 尾張 遠江 甲斐 安房



唐檣 九条 梅小路 八条坊 下奥 七条 北小路 清前通 花屋所 奥棚

一 非道なる面不可取  
 一 長酒其遊具備  
 一 負五部感事  
 一 己迷利根就万端

一 他人理致聖皇  
 一 象指感事  
 一 嬾賢臣愛後人致  
 一 此分ゆ法事



山法及八ヶ金  
 丹波及丹波  
 但馬及但馬  
 伯耆及伯耆  
 石見及石見  
 山陽及山陽  
 播磨及播磨  
 備前及備前  
 備後及備後  
 周防及周防  
 南海及南海  
 紀伊及紀伊

八ヶ金  
 丹波  
 但馬  
 伯耆  
 出雲  
 隱岐  
 美作  
 備前  
 安藝  
 長門  
 六ヶ金  
 法橋

及伯耆 及但馬 及丹波 及石見 及山陽 及播磨 及備前 及備後 及周防 及南海 及紀伊

一 良具志懐己過分  
 一 而序不日全者事  
 一 貴賤不為因事  
 一 道理任安樂事  
 一 出家沙門在彼事

上総 下総  
 老陸 下総  
 東山 八ヶ金  
 近江 美濃  
 飛騨 信濃  
 上野 下野  
 陸奥 出羽  
 美濃 美濃  
 越中 越前  
 佐渡 佐渡

及上 及下 及美濃 及信濃 及下野 及出羽 及美濃 及越中 及越前 及佐渡

一 物作人事  
 一 來則攝處病不  
 一 能對面事  
 一 好獨味不能味人  
 一 陸序事



阿波	作	西海	後	豊	肥	日向	薩	對	系	伏見	大坂
瀬	備	九	後	後	後	大	大	大	大	大	大
瀬	備	瀬	後	後	後	大	大	大	大	大	大
瀬	備	瀬	後	後	後	大	大	大	大	大	大

宗可心礼哉事  
 在分國之諸州令  
 煩使運諸人事  
 在汝等之常事也  
 然其為命戰時也

江	金	坂	水	小	姫	珠
上	上	上	上	上	上	上
上	上	上	上	上	上	上
上	上	上	上	上	上	上

我士乃不恥其也  
 以執其儀身運生人  
 守其法也其子也  
 下成改乃其書也  
 其外軍書也



今川 〇六



虎	時	布	人	行	馬	秤	藤	平	糸	井
屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋
五	金	南	在	庫	本	源	林	吉	氏	勝
五	金	肉	平	十	本	之	之	之	之	之

知れど対お侍乃志  
 守備物随以魚友  
 不て有く水陸乃者  
 美入法香惠願者  
 毛以法軍乃復を電

玉	為	紙	去	遠	飛	綱	筆	布	十	綱
屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋	屋
太	依	芳	石	磯	利	柏	向	維	西	下
太	依	芳	石	磯	利	柏	向	維	西	下

可織其能也侍乃好  
 志守備物知在く織  
 秋知者心親ま君  
 好侍人し中申侍也  
 賢人貪民王司志









松田屋 新野屋 廣屋 須原屋 末所屋 保屋 岸燒屋  
 松田屋 新野屋 廣屋 須原屋 末所屋 保屋 岸燒屋

我々香魚を棧群  
 集来易ある思者隆  
 振諸人殊果無亦  
 孝則己心約て知ふ  
 正年一前成市云

名子盡  
 平嵐 平橋 芋願  
 板倉 板垣 伊波  
 伊波 伊波 伊波  
 板尾 伊波 伊波  
 徳個 池田 徳股  
 岩城 橋本 石川  
 岩崎 石堂 石原  
 六郷 康山 海峽  
 林 長善 馬場  
 服部 昌山 系回  
 速有 相栄 萩系

一あることいひ  
 て者く無理也乃  
 者一旦忘又片下せ  
 乃る念念氏殊賜軍  
 物中何ん少欲族  
 中披其肩在立寄









中井村 向井村 極村 宇南 裏過 丸生  
 成合 梅村 岡田 碓井 臼井 浮橋  
 中井 宗像 上田 卜部 宇南 融月

長村 中根 根岩 去橋 過井 拙木 岩我 武村 谷口 田村 侯在  
 那頂 永田 中登 根來 月橋 津怪 苑京 岩根 美賀 高田 高木 武田  
 南丸 名張 長河 孫津 孫波 堀中 減川 十河 港門 田原 建約 高橋

仁義礼智信 一の  
 危心改之 切 危云  
 人恨構北 焚之 危料  
 名子 款 深 然 之 因果  
 不て 道 之 将 才 之 志 不

多美之 由 野 則 下  
 半 之 德 拙 矣 事 可  
 多 之 唯 佛 为 救 宥 生  
 也 演 法 法 權 心 法 不  
 下 持 之 義 矣 道 法 必



八下 山科 松浦 松任 松尾 福 小堀 久我 後友 又 小堀 江村 寺井  
 八下 山科 松浦 松任 松尾 福 小堀 久我 後友 又 小堀 江村 寺井  
 八下 山科 松浦 松任 松尾 福 小堀 久我 後友 又 小堀 江村 寺井

松任 松尾 福 小堀 久我 後友 又 小堀 江村 寺井  
 松任 松尾 福 小堀 久我 後友 又 小堀 江村 寺井  
 松任 松尾 福 小堀 久我 後友 又 小堀 江村 寺井

酒 依 相 抹 新 明 足 乾 嘉 清 清 野  
 白 倉 馬 赤 城 三 紫 山 井 野  
 機 早 依 酒 沃 芥 明 安 清 嘉 阿 嘉  
 舟 苗 系 井 田 川 智 達 景 本 初 本  
 坂 向 相 志 佐 亮 光 利 安 赤  
 田 坂 良 回 作 生 不 利 奈 友 舟

家人後先祖知分  
 降母おを主時流主  
 人仕持振舞成勢多  
 少也況須知合裁及  
 家生集来流坊所飲







林 大 廣 九 毫 定 火 壽 万 香 本 野  
 茂 性 航 云 元 助 性 梅 朋 沐 休 性 野  
 作 傳 迎 加 每 鹿 源 派 包 滿 門 控  
 道 長 雲 養 菊 曲 全 久 外 房 百 本 平  
 漢 太 針 費 破 金 岩 間 邦 福 武 文  
 仙 六 物 者 角 卷 本 每 心 心

野 名 記 字 づ じ  
 藝 書 今 種 恥 辱 也  
 法 切 忠 孝 義 勇 思 外 法  
 序 以 終 言 法 法 心 前 未 也  
 切 切 我 經 世 紀 家 家 皆  
 隆 切 世 保 家 治 劫 氣

仲 重 金 性 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼  
 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼  
 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼  
 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼

際 空 沈 沈 沈 沈 沈 沈 沈 沈  
 之 良 業 者 男 心 云 送 身  
 先 之 意 固 疾 亦 紅 鏡 共  
 實 者 亦 亦 入 種 金 中  
 石 不 絲 還 亦 亦 亦 亦 亦



以呂波之神

以呂波仁保色去  
知利奴當壹和加  
支古礼者乃孫宗  
也武字乃乃於久  
也末計不公江天  
安左後由女英之  
意比色世村東

篇英冠

才才才才才才  
有有有有有有  
勇勇勇勇勇勇  
金金金金金金  
日日月月日月  
角角角角角角  
王王王王王王  
牙牙牙牙牙牙  
馬馬馬馬馬馬  
身身身身身身

救日當以時水

患親身肉因絕

後者字極取死

先世之業周以

於世乘古之入

再世之北極

披身之出款

意也

連係

膚也











秋末味央  
秋末味央  
秋末味央  
秋末味央  
秋末味央  
秋末味央  
秋末味央  
秋末味央  
秋末味央  
秋末味央

傳日創我經致補任  
五位尉兼兼南宮内  
目奔代々重感何更  
如隆法今忠源欽切  
傳以補寺法社牛王室

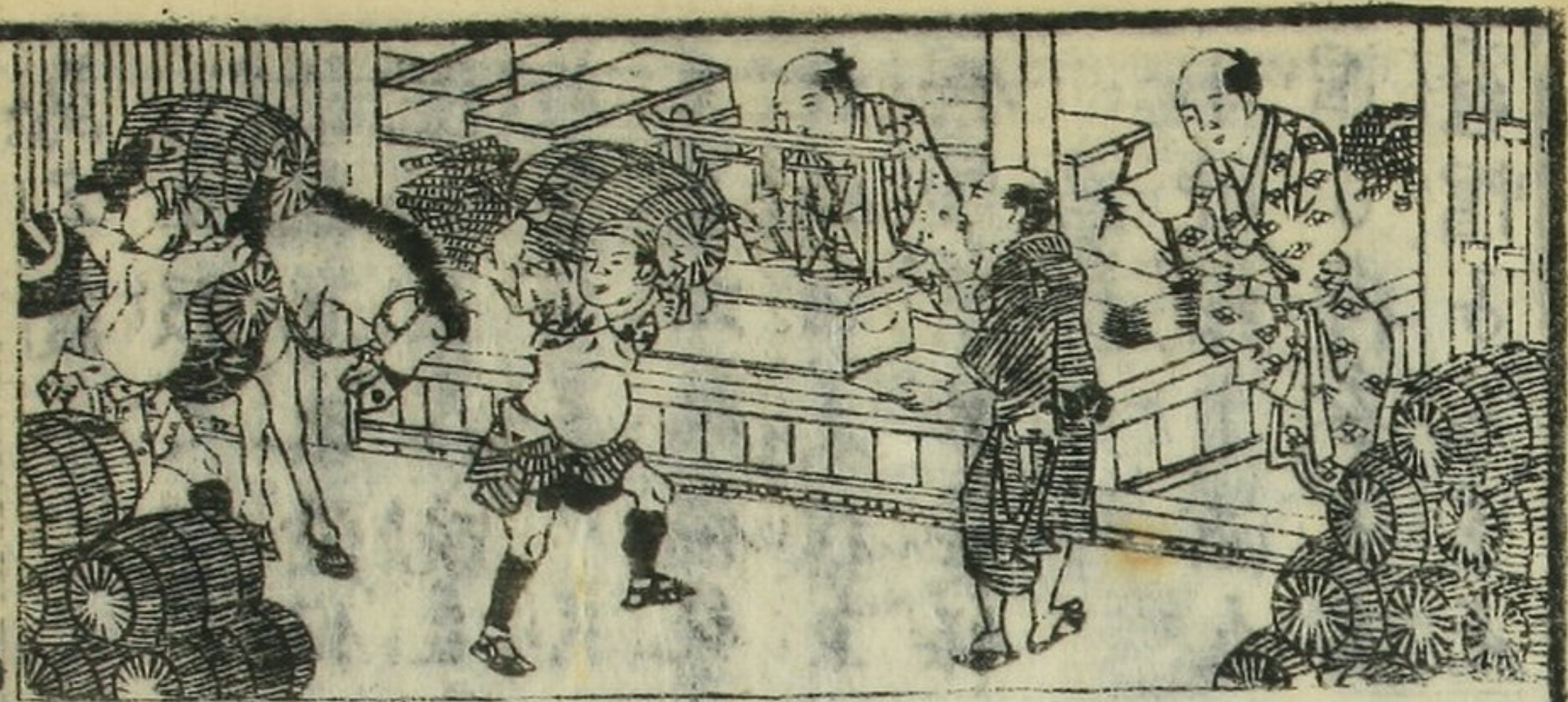
七ヶ所  
七ヶ所  
七ヶ所  
七ヶ所  
七ヶ所  
七ヶ所  
七ヶ所  
七ヶ所  
七ヶ所  
七ヶ所

下程不極野心自  
存日本團中平餘加  
大小之秋祇道道  
在敷通之却信以  
以母清着堂人更森









高貴性素  
 凡高貴人持板又字  
 負教如孝之日記  
 文注又信如貨人義  
 用悵同祿仕切之入道



八八四十八  
 六六卅六  
 六八四十八  
 七七四九  
 七九六十三  
 八九七十二  
 八九四十八  
 六七四十二  
 六九八十四  
 七八十六  
 八八六十四  
 九九八十一

元曆二年六月日  
 進上因幡守殿  
 源義經  
 忠惶謹言  
 諸事 作法 順業



萬字盡

五穀之部

稻 糯 蜀 黍 糜 飯

稷 麥 粟 黍 菽 豆

菘 豆 蠶 豆 刀 豆

羊 藜 砂 糖 燻 化

燒 餅 粟 米 糝 菜

饅 頭 素 麵 菜 餅

著 鞋 之 部

小 神 衾 十 德 烏

帽 子 狩 衣 垂 露

冠 帽 子 袈 裟 長



綿 巾 脚 布 具

足 巾 衣 襪 巾

汗 衫 袴 衣 文

光 綾 子 袴 紅

沈 縵 金 紗 履

法 道 具 之 部

先 由 替 人 全 子 大 判

小 由 之 亦 武 兼 全 位

亦 多 取 借 南 條 之 銀

子 丁 豆 板 灰 吹 木 考

厚 古 巾 白 黃 自 之 重

毛 拂 之 天 秤 分 洞 玄

相 透 刻 有 之 合 責 背 透

雜 穀 稷 糯 早 稻 晚 稻

古 米 新 米 麥 大 全 豆 小

豆 大 角 豆 豆 尚 麥 粟 黍 黍



揚弓的矢食續  
 堂登塗桂縁高  
 香屋世子全支  
 燒基火洋練盤  
 鏡碎湯杖花瓶  
 火美曲福柔養  
 茶白砂坪左靴  
 福較菓菓天八  
 筆筆提珊秋芥  
 蒲派稿全車批  
 水川紙子抄佛  
 堂水用烟末形



板小竹筒古産  
 本之部  
 松梅檜橙批桂  
 柞竹榎楸枳柎  
 楠柘桐拔橙枳  
 榎柘柎枳

桿胡麻在茶種也  
 數艘狹宅回金之藏入  
 空回今並原お場不  
 疎在賣拂心運伊久為  
 上保儀方お舞坊各

勘利回往出入者  
 換先共可辨之何者  
 味曾酒酌留為油  
 彌燭紙墨筆未以  
 外須布敷金網結







高蒲菜花白  
 頂花嬰粟花  
 礮十寸穗芒  
 鳳仙花旋處  
 龍膽白芒北  
 花美人草鹿  
 尾草山榴粉  
 壹花石荷玄  
 后石高表門  
 絲凡破剪壁  
 草吾木香玉  
 蒲菊棠蒲葵  
 石

皮并波色緞花  
 皮文芝葉金木  
 若公茶漆前黃  
 高紅粉屬波入  
 縹散鞋菊之浪



插花蓮花白  
 陽花扇慶盆  
 紫苑花盤水  
 畫畫花苞莖  
 青物部

高折世所不  
 車以沼地扇  
 九樽圓結菊  
 已真唐衣女  
 好換板恰好



柳葱 葵 葛 芥 芥  
 菘 苣荬 草 馬 齒 苳  
 分葱 東 同 菜 根  
 葱 根 葱 卜 治  
 薑 薑 蜀 漆 蓼 五  
 加 木 於 排 物 脊  
 芸 草 芝 烏 草 莫  
 蕪 蕪 留 苳 荷 番  
 椒 山 葵 大 根 苦  
 菜 芥 子 姜 素 丸  
 行 瓜 越 瓜 胡 瓜



王 瓜 胡 瓜 西 瓜  
 松 茸 推 茸 平 茸  
 紅 耳 木 茸 土 茸  
 蕙 薺 菜 薊 菜 薺 薺  
 芋 芋 角 瓜 竹 子  
 菜 蔞 加 蔞 苗 艾

氏 士 之 用 之 者 亦 隆  
 多 者 增 分 弓 箭 矢  
 炮 銃 長 刀 秤 禮 規 綬  
 泥 漆 切 付 帶 子 紐  
 腹 帶 鞆 鞆 鞆 鞆 鞆  
 鞆 鞆 鞆 鞆 鞆 鞆

纒 紐 又 刀 脇 指 拵  
 目 貫 鞆 鞆 鞆 鞆 鞆  
 紐 切 付 鞆 鞆 鞆 鞆 鞆  
 赤 羽 玉 珠 藏 重 素 綯  
 袂 家 鞆 居 紋 那 布 細











鮑青前魚為致  
 鮫鐵魚鰻鱺江  
 豚魚海鯊飯凱  
 鮫魚子鮓鱧蹄  
 鮫鮓文鱧魚鮓  
 鮓魚鱧魚野乾  
 海月蟬緒河豚  
 魚鱈魚九万疋  
 鮓魚鮓好鮓鮓  
 鮓鮓鮓鮓鮓鮓  
 鮓鮓鮓鮓鮓鮓

九散諸合樂 海世堂



雜唯刺帳  
 鮓石首魚蟹鮓  
 鮓鮓鮓鮓鮓鮓  
 江鮓魚鮓鮓鮓  
 鮓油鮓鮓鮓鮓  
 鮓鮓鮓鮓鮓鮓  
 鮓鮓鮓鮓鮓鮓

綱確確其編之金筆

本廢為乘下直時不

及合て内素為事也系

吉與之車他羅麻對

香新極樟腦沈香

人冬若者者耳車肉

極丁子同芳白極黃色

已豆連肉保胡葉苑

苗者苗屬陳皮以極

枝之枝枝枝本香芽子



貝之部  
 車渠文蛤海贏  
 蚌贛帽貝鵝贏  
 烏貝薦貝梭尾  
 螺蟹帆海膽即  
 厚田贏秦龜故  
 鮫  
 鯨鱗犀豹獺虎  
 象獾狸野猪狸  
 羊狝子獾水獭  
 水豹黃牛牯牛

鼬撮犬獾物犬  
 猿猴虎去豹鼯  
 鼯猴熊雷踏馬  
 猪兔鼯貍羊獾  
 狢栗鼯狸  
 兔牛疆頭唐犬  
 早菘恆揚山暴  
 鹿狼  
 虫之部  
 守文執赤棘螻  
 蛇蟻蜂蟻  
 龜供織石蜂蟻

兔練子圓母  
 南星細辛獨活麻黃  
 續斷子養膏大戟  
 枳殼白芷石斛河縷  
 羌活大黃枳槲子

杏仁桃仁阿膠  
 黃心椒煇硝綠青辰  
 砂煉藥粉藥散藥  
 膏藥金銀藥  
 種不用量入  
 換



越故編橋金鐘  
兒金花炭情吟  
煖林播撥量龜  
馬金龜子芽桐  
鳳紫蛇蜜瘰瘰  
蜂虱法軍真打  
蛾右下虫挑梳  
精吟懶攪搜水  
蟹紙魚子虫托  
排蛋蛋盤蟻結  
整樓飛換林龜  
魁百足粘輪垂

西車中其外山  
海之魚鳥鵲雁鴨  
柑子鵲中雀雀白鳥  
鷓鴣鳩鴨鵲雞鷄  
王雉與鵲鵲殘魚

領中銀子車  
一合銀何貴固  
石之銀子造銀以天定  
何時成共十許以用  
急度是漸下以為後日  
於此之仍也  
傳人作判  
奉皇月日製主維判  
准度  
永代實波衣衣衣衣  
合衣衣新衣通何何何何  
大之家表以何者裏行

體錄筋鮑鵲鵲鳥  
雁辛鵲菜鵲鵲鵲  
海老牡蠣蛤蛤馬刀規  
鵲鵲鵲鵲鵲鵲  
燕海鵲鵲鵲鵲鵲











出處仕吳我亦在卷  
傳的當申也如言少者  
清強數中者若以可厚骨  
借金法狀仍亦伴

後人推判  
借主推判

年寄作取  
年寄作取

律法之事

我亦欲或并亦欲  
之我知子不亦知也

誰之債中亦其意也次  
男誰之何所亦也  
我亦銀子何程也  
中の然上も何方より  
我亦銀子何程也  
無い為は律目債状  
依る如伴  
年寄目目 又推判  
也  
西所申  
不通養子一札  
年寄目目 何也

支之益也 正善也 破

滅之善也 凡也 而見世

抑奇廉 扶投 也 言

養母之 亦 亦 亦 亦 亦

高利 操人 目 亦 亦

罪之 亦 亦 亦 亦 亦  
稀 忌 天 道 之 軍 也  
終 南 貴 禁 昌 子 孫  
榮 也 瑞 相 也 債 利 淫  
甘 也 疑 仍 如 伴





南幸上何歳より今及  
 不海の物集り我々の  
 世を欲定通の指代  
 銀指板は原角八  
 枚長に懸る中銀  
 銀六ヶ月切の渡り物  
 兼通強上を不象実  
 子没は此の推想は  
 おまの如くお象  
 下はの後日依る  
 在る月日何日  
 惟由

判形相生の事

卯 性 吉 	未 性 吉 	酉 性 吉 	亥 性 吉 
辰 性 吉 	申 性 吉 	戌 性 吉 	子 性 吉 
巳 性 吉 	未 性 吉 	酉 性 吉 	亥 性 吉 
辰 性 吉 	申 性 吉 	戌 性 吉 	子 性 吉 

甲きのしきの丙ひの丁ひの戊の  
 巳の庚かの辛かの壬の癸の  
 子れ丑じ寅とら卯う辰ち己  
 夜九ツ夜八ツ夜七ツ明六ツ  
 午ひま未ひ申さる酉う戌い  
 至九ツ至八ツ至七ツ暮六ツ  
 至八ツ至七ツ暮六ツ夜四ツ

以下河急拾水原圖 速水春曉寫  
 安永五乙申孟春  
 天保三壬辰春拾日刻

京都書林

長屋治を湯  
 吉野屋仁を湯  
 山崎屋佐を湯  
 伏見屋を湯





早稲田大学図書館

011488554362